大学番号：私169

認可

[平成24年度設置]

計画の区分：大学院の設置

杉野服飾大学大学院

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 杉野学園
平成24年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 杉野学園

(2) 大学名

杉野服飾大学大学院

(3) 大学の位置

〒141-8652
東京都品川区上大崎4丁目6番19号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(ナカムラ ケンジロウ) 中村 賢二郎 (平成16年5月20日)		
学長	(ナカムラ ケンジロウ) 中村 賢二郎 (平成15年4月1日)		
研究科長	(セコ トオル) 瀬古 徹 (平成24年4月1日)		
専攻長	なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)
平成24年度に報告する内容 → (24)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
造形研究科 造形専攻 修士(造形)	2年	10人	20人	基礎となる学部等 服飾学部 服飾学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	—	—	—	—	10人	—	0.3倍	
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
志願者数	—	—	—	—	4	—		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(2)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[0]	[—]		
受験者数	—	—	—	—	4	—		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(2)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[0]	[—]		
合格者数	—	—	—	—	3	—		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(1)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[0]	[—]		
B 入学者数	—	—	—	—	3	—		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(1)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[0]	[—]		
入学定員超過率 B/A	—		—		0.3			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] —	[-] —	[-] —	[-] —	[0] 3	[-] —	
2年次	/		[-] —	[-] —	[-] —	[-] —	
3年次	/		/		[-] —	[-] —	
計	[-] —	[-] —	[-] —	[-] —	[0] 3	[-] —	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	— 人	— 人	平成21年度	— 人	— 人		— %
			平成22年度	— 人	— 人		
			平成23年度	— 人	— 人		
			平成24年度	— 人	— 人		
平成22年度 入学者	— 人	— 人	平成22年度	— 人	— 人		— %
			平成23年度	— 人	— 人		
			平成24年度	— 人	— 人		
平成23年度 入学者	— 人	— 人	平成23年度	— 人	— 人		— %
			平成24年度	— 人	— 人		
平成24年度 入学者	3 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
合 計	3 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<造形研究科 造形専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	美の考察	1前	2			2						オムニバス	兼1 オムニバス、共同授業 オムニバス、共同授業 オムニバス、共同授業 オムニバス、共同授業 オムニバス、共同授業 オムニバス、共同授業 共同授業 准教授より教授へ昇格のため 教員の配置の変更(24) 担当 安部 智子(教授) 平成24年2月 教員審査済 判定 可
	創作技法研究Ⅰ	1前	4			8	1						
	創作研究Ⅰ	1前	4			7	2						
	創作研究Ⅰ	1前	4			5	1						
	創作技法研究Ⅱ	1後	4			4	2						
	創作研究Ⅱ	1後	4			8	1						
	創作研究Ⅲ	2前	6			7	1						
	修了制作	2後	6			8	0						
小計(7科目)			30	0	0	9	1	0	0	0			
自由科目	メディアと造形表現	1前			2							兼2 オムニバス	兼1 集中 認可時パリ在住であった担当教員が帰国したことにより、授業期間の変更(24)
	パリの文化と日常の美	1前			2								
	小計(2科目)		0	0	4								

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	0	2	9	7	0	2	9	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	杉野服飾大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
服飾学部 服飾学科	年 4	人 240	年次 人 3年次 30	人 1020	学士 (服飾)	倍 1.02	昭和 39年度	東京都品川区 上大崎4丁目 6番19号 東京都日野市 百草1006番地44	
大学の名称	杉野服飾大学 短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
服飾学科	年 2	人 70	年次 人 —	人 140	短期大学士 (服飾)	倍 0.61	昭和 25年度	東京都品川区 上大崎4丁目 6番19号 東京都日野市 百草1006番地44	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<造形研究科 造形専攻>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	塚田 耕一	平成24年4月	美の考察※						
専	教授	樽松 次郎	平成24年4月	美の考察※ 創作技法研究Ⅰ※ 創作技法研究Ⅱ※ 創作研究Ⅲ※ 修了制作						
専	教授	北折 貴子	平成24年4月	創作技法研究Ⅰ※ 創作研究Ⅰ※ 創作技法研究Ⅱ※ 創作研究Ⅱ※ 創作研究Ⅲ※ 修了制作						
専	教授	千代崎 寛	平成24年4月	創作技法研究Ⅰ※ 創作研究Ⅰ※ 創作技法研究Ⅱ※ 創作研究Ⅱ※ 創作研究Ⅲ※ 修了制作						
専	教授 (研究科長)	瀬古 徹	平成24年4月	創作技法研究Ⅰ※ 創作研究Ⅰ※ 創作技法研究Ⅱ※ 創作研究Ⅱ※ 創作研究Ⅲ※ 修了制作						
専	教授	森(鈴木) 淳子	平成24年4月	創作技法研究Ⅰ※ 創作研究Ⅰ※ 創作技法研究Ⅱ※ 創作研究Ⅱ※ 創作研究Ⅲ※ 修了制作						
専	教授	小山 千曉	平成24年4月	創作技法研究Ⅰ※ 創作技法研究Ⅱ※ 創作研究Ⅲ※ 修了制作						
専	教授	鈴木 美和子	平成24年4月	創作技法研究Ⅰ※ 創作技法研究Ⅱ※ 創作研究Ⅲ※ 修了制作						
専	准教授	安部 智子	平成24年4月	創作技法研究Ⅰ※ 創作研究Ⅰ※ 創作技法研究Ⅱ※ 創作研究Ⅱ※ 創作研究Ⅲ※ 修了制作	専	教授	安部 智子	平成24年4月	創作技法研究Ⅰ※ 創作研究Ⅰ※ 創作技法研究Ⅱ※ 創作研究Ⅱ※ 創作研究Ⅲ※ 修了制作	准教授より教授へ昇格 平成24年2月 教員審査済 判定 可
専	准教授	桐山 征士	平成24年4月	創作技法研究Ⅰ※ 創作研究Ⅰ※ 創作技法研究Ⅱ※ 創作研究Ⅱ※						

兼任	講師	土屋 純一	平成24年4月	創作研究Ⅰ※					
兼任	講師	田居 克人	平成24年4月	メディアと造形表現※					
兼任	講師	生駒(飯田) 芳子	平成24年4月	メディアと造形表現※					
兼任	講師	後藤 綺子	平成24年4月	パリの文化と日常の美					

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**認可時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
8	2	10	0	8	2	10	0	
(8)	(2)	(10)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			該当なし
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(平成23年10月)</p>	<p>設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業担当教員（非常勤教員も含む）全員に申請書の設置の趣旨・必要性を記載した書類を配付、大学院の教育目的等の認識を共有することに努めた。(24) ・ 設置認可後、大学院開設準備委員会及び研究科運営準備委員会を発足させた。開設準備委員会においては学則、委員会規程等の制定、授業運営などを議題とした。運営準備委員会では、必修科目の授業内容について、担当教員全員が申請したシラバスに基づき、より詳細な授業計画を配付し、説明、意見交換を行った。そのことにより、必修科目担当教員全員が授業の内容を認識、理解することができた。このことにより、科目間での関連性もつげながらの授業運営を行う準備をしてきている。(24) ・ 平成24年4月4日入学式終了後に、入学者全員に対しガイダンスを行った。その中で研究科長より、指導スケジュール表（認可申請書に添付）に基づいて履修の流れを説明。また各授業科目についてもシラバスに基づきながら一科目ずつ内容を説明し、科目間の関連性等も示し、院生の理解を深めるようにした。(24) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価、授業見学等のFD活動については、研究科委員会で検討の上、実施していく予定である。(24) ・ 共同授業を担当する教員が授業におけるテーマで組まれたペアでそれぞれ共同研究を進め、25年度もしくは26年度に成果を発表することを目標として、話し合いがもたれている。(24)
	<p>学位の英語名称については「Master of Creative Arts」とし、併せて研究科及び専攻の英語名称についても、それぞれ「Graduate school of Art」を「Graduate school of Creative Arts」、「Course of Art」を「Course of Creative Arts」とする方が一般的であると考えられるので検討されたい。</p>	<p>意見を受けて学内で検討の結果、学位の英語名称を「Master of Creative Arts」、研究科名を「Graduate school of Creative Arts」、専攻名を「Course of Creative Arts」とすることとし、大学院案内等の印刷物においてもその名称を使用している。(24)</p>	

設置計画履行状況 調査時 (△△年△△月)		該当なし	
-----------------------------	--	------	--

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<造形研究科 造形専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

開設前：大学院開設準備委員会(H23/10/26設置)、研究科運営準備委員会(H23/10/26設置)
 開設後：研究科委員会(H24/4/1設置)、杉野服飾大学大学院自己点検評価委員会(H24/4/1設置)

- ・ **大学院開設準備委員会** 第1回(H23/11/4) 学長、教員10名、職員2名出席
 第2回(H23/12/16) 学長、教員10名、職員2名出席
- ・ **研究科運営準備委員会** 第1回(H23/11/4) 教員8名、職員2名出席
 第2回(H23/11/9) 教員7名、職員3名出席
 第3回(H23/11/29) 教員9名 職員2名出席
 第4回(H23/12/29) 教員10名 職員1名出席
 第5回(H24/1/17) 教員10名 職員2名出席
 第6回(H24/3/15) 教員10名 職員2名出席
- ・ **研究科委員会** 第1回(H24/5/2) 教員8名、職員2名出席

c 委員会の審議事項等

- ・ 大学院開設準備委員会 大学院学則、研究科委員会規程、自己点検評価委員会規程等の制定について
 授業概要の作成、成績評価基準について等
- ・ 研究科運営準備委員会 学生募集、入試、年次計画、学事予定、設備等について
 修了制作の発表方法、授業内容の勉強会、成績基準等について
- ・ 研究科委員会 授業内容の情報交換、成績評価、広報、FD活動について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 必修科目のより詳細な授業概要を作成
- ・ 必修科目担当教員全員による意見交換

- b 実施方法
 - ・ 研究科運営準備委員会での議題として、詳細な授業概要を基に必修科目担当教員全員で話し合いをした。
 - ・ 研究科委員会で授業開始後の状況について情報交換を行った。
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 上記①bの通り。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 4月に授業を開始したところであり、具体的な取組はこれからになる。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - 平成24年7月頃実施の予定
 - （授業に対する要望、感想、意見を比較的自由に書かせる形での調査を予定）
 - b 教員や学生への公開状況，方法等
 - アンケート実施の1,2ヶ月後に研究科委員会にて結果を示し、改善策等を話し合う予定。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

未定

③ 認証評価を受ける計画

学部と同じに日本高等教育評価機構による認証評価を受ける方向で学内で検討中。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成24年 6月 15日)

杉野服飾大学大学院研究科委員会規程

(設置)

第1条 杉野服飾大学大学院に造形研究科（以下「研究科」という。）の運営に関する重要事項を審議するため、研究科委員会を置く。

(組織)

第2条 研究科委員会は、研究科長及び研究指導教員で組織する。

2 研究科委員会が必要と認めたときは、研究指導教員以外の研究科に所属する教授、准教授、専任講師及び学務課主幹を加えることができる。

3 研究科委員会には、必要に応じ、学長の出席を求めることができる。

4 研究科委員会には、必要に応じ、学務課の職員その他の職員の出席を求めることができる。

(審議事項)

第3条 研究科委員会は、研究科に関する次の事項を審議する。

- (1) 教育課程に関する事項
- (2) 研究科担当教員の人事に関する事項
- (3) 入学、休学、退学、復学等学生の身分に関する事項
- (4) 試験及び課程修了の認定に関する事項
- (5) 修了制作に関する事項
- (6) 研究科の自己点検、自己評価に関する事項
- (7) 認証評価機関による認証評価に関する事項
- (8) その他研究科の運営に関する重要事項

(議長)

第4条 研究科委員会は、研究科長が召集し、その議長となる。

(議事等)

第5条 研究科委員会の議事その他研究科委員会の運営に関し必要な事項は、研究科委員会において別途定める。

附則 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

杉野服飾大学大学院自己点検評価委員会規程

(設置)

第1条 杉野服飾大学大学院学則第2条の規定に基づき杉野服飾大学大学院自己点検評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、大学院の教育・研究水準の向上を図り、今後の発展充実に資するため、組織運営・教育・研究等の状況について点検及び評価を行い、学校教育法第110条の規定に基づく認証評価機関の評価を受けるための資料を作成することを目的とする。

(業務)

第3条 委員会は、前条の目的に従った自己点検評価を実施する。

(組織)

第4条 委員会は、次に掲げる委員で構成する。

(1) 学長、研究科長、研究指導教員

(2) 学長が審議事項に応じて研究科に所属する教員のうちから指名した者

(3) 学務課主幹

2 委員会には、必要に応じて関係教職員の出席を求めることができる。

3 委員会に委員長をおき、学長をもって充てる。

4 委員会に委員長代理をおき、研究科長をもって充てる。

(任期)

第5条 前条第1項第2号の委員の任期は2年とする。

(会議)

第6条 委員長は会議を招集し、議長となる。

2 委員会は、委員の3分の2以上の出席で成立し、出席者の2分の1以上をもって議決をする。

(公表)

第7条 学長は、自己点検評価の結果について、公表するものとする。

(事務)

第8条 委員会の事務は、学務課において処理する。

附則 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

3 大学院開設のための準備委員会設置等について

平成 23 年 10 月 26 日理事長裁定

平成 23 年 10 月 24 日付けにて杉野服飾大学大学院の設置が認可されたことにより、平成 24 年 4 月 1 日の大学院開設に向けて、下記のとおり準備委員会を設置し事務体制を整えることとする。

記

1. 学長主催による**大学院開設準備委員会**

- ・委員：学長

研究科授業担当予定者（専任）10 名

（北折教授、樽松教授、小山教授、鈴木教授、瀬古教授、千代崎教授、塚田教授、森教授、安部准教授、桐山准教授）

学務課主幹（宮本）

- ・任務：大学院の運営全般に関する重要事項を検討し、開設の準備にあたる。

2. 研究科長予定者（瀬古教授）主催による**研究科運営準備委員会**

- ・委員：研究科委員会構成予定者 8 名

（北折教授、樽松教授、小山教授、鈴木教授、瀬古教授、千代崎教授、森教授、安部准教授）

※委員会には必要に応じて他の教員、事務担当者の出席を求めることができる。

- ・任務：研究科の運営に関する具体的準備にあたる。

3. 具体的準備に関しての事務担当部署

- ・事務局担当部署：学務課 主幹（宮本）、主任（倉持）
- ・事務局協力部署：教務部、経理部
- ・広報・入試事務担当部署：入試広報部

以上

7 全般的事項

(3) 自己点検・評価に関する事項

①設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

杉野学園の創立者杉野芳子は服飾デザインを芸術創作活動と位置づけていた。本大学院は服飾造形が布による身体表現であるという原点に回帰し、服飾造形の原理を追求することを教育研究の柱としている。「衣」による自己表現を美術造形研究の中で行い、新しい「衣」の創出を行い、高度な創造能力をもつ「衣」の造形作家を養成することを目標として申請し認可を受けたものである。

授業担当教員には設置の趣旨・必要性等を記載した書類を配布し、本大学院の教育目標等の周知に努めた。設置認可後、大学院開設準備委員会及び研究科運営準備委員会をすぐに発足させ、開設準備委員会においては学則、委員会規程等の制定、授業運営などを議題とし、管理体制の構築に努めた。運営準備委員会では、必修科目の授業内容について担当教員全員が申請したシラバスに基づき、より詳細な授業計画を作成し、これを全員に配付して、説明、意見交換を行った。そのことにより、担当科目の詳細な授業内容の検討、確認を行うとともに他の教員の必修科目担当教員全員が、授業の内容を認識、理解することができた。

授業は必修科目すべてがオムニバス形式、共同授業形式であり、担当教員全員が他の教員の教授内容を認識していることが必須である。また、科目間の関連性の観点からもすべての授業において教員同士の情報交換は授業運営において重要な要素である。こうしたことより、4月に始まった授業について、5月2日に開催された研究科委員会でも早速に話し合いがもたれ、教員それぞれの教授内容についての情報交換がされている。さらに、必修科目の中でゲストとして招く現代の衣服造形作家にも、研究科長から本大学院の授業のコンセプト、教育目標等々を説明し、理解を得た上で講義を依頼している。

教育内容に関しては以上のように設置の趣旨・目的達成に向けての努力を積極的に重ね、順調に進めていると言うことができる。

FD活動はまだ授業が始まったところで、これから授業評価アンケート調査等を実施する予定である。自己点検評価委員会も、実際の活動はこれからになる。FD活動、自己点検評価活動ともに学部とは別に大学院として実践していく予定であるが、認証評価は完成年度を過ぎてから学部と同じく日本高等教育評価機構による評価を受けることを予定している。

学生確保の点では、10月末の認可後から実質的な募集活動を行ったこともあって、入学定員10名のところ、志願者4名、入学者が3名のみであったことは、大きな反省点である。24年度の学生募集に関しては迅速に動く必要がある。このことは4月前の研究科運営準備委員会で問題とされた。現在、5月2日に開催された第1回研究科委員会で広報活動を議題として話し合いがもたれ、学生募集に向けて始動したところである。